

研究名： 術前血液培養陽性症例の急性肝不全肝移植症例への影響の検討

1．研究の目的

重症の急性肝不全は生命予後の悪い疾患ですが、肝移植を行うことで予後が向上することが報告されています。同疾患は、感染症を併発しやすいことがわかっており、肝移植術前に感染症を発症すると肝移植が行えなくなることもあります。そのため、術前に感染が起こった場合、どういう治療をして、どのような状態になれば移植を施行して良いのか、また感染を起こしたこと自体が移植術中や術後予後にどのような影響を及ぼすのかなどの検討が重要と考えられますが、現時点で詳細な検討はされていません。本研究では診療録をもとに検討し、急性肝不全の患者さんの肝移植の周術期管理をよりよく改善するために行われます。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2005年11月～2021年5月までに当院で急性肝不全に対して肝移植を施行した患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年1月

研究方法：診療録により術前状態、術中所見、麻酔管理、術後経過を抽出し改善点を検討したのち、結果を用いて急性肝不全に対する肝移植周術期管理を改訂する

3．研究に用いる情報の種類

病歴、身長、体重、術前状態、術中麻酔管理、検査データ、術後経過

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、令和4年4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 麻酔科 馬場千晶（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7960）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 麻酔科 馬場千晶